

## 函館市教育振興基本計画（案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施結果について

|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 案件名    | 函館市教育振興基本計画（案）             |
| 募集期間   | 平成29年12月4日（月）～平成30年1月9日（火） |
| 担当課    | 教育委員会学校教育部学校教育課            |
| 意見提出者数 | 個人2名（意見総数2件）               |

○ 函館市教育振興基本計画（案）に対する意見と市の考え方

※ 「意見の概要」については、原文を載せています。

| No. | 意見の概要  | 市の考え方  |
|-----|--|--|
| 1   | <p>○ 「目標設定理由に大きな疑念」</p> <p>函館市は少子化と人口減少を訴え、活性化を進めるために教育振興基本計画を策定していますが、まちづくりと活性化を教育に求めています。基本的には無理があります。</p> <p>1) 函館市は少子化を教育の力で乗り越えようとしています。果たして可能でしょうか。少子化の背景は ①若い方々の経済力が低下し、子どもを産み育てにくい。②生活環境の悪化が進み市街地における自然環境破壊が進み、緑の空間が特に市街地で失われています。子どもを安心して遊ばせられない環境にある。③子を持つ母親たちは近くの保育園に預けられず、子育てしながら仕事を続けられないという悪循環があります。</p> <p>2) 函館市への愛着が生まれるように教育をしようと言いますが教育で子どもたちに町への愛着が育つのでしょうか。愛着は子どもから大人へと育つすべての時間で醸し出されると考えます。その条件は整えられていますか？幼児は自然に囲まれ、育っていますか？グローバルな時代に広く世界を見ていくと函館市の人々が暮らす環境の不備に気が付くようになります。①児童公園は豊かでしょうか。②小学生の通学時間と中学生の通学時間は適切でしょうか。③高校生の自転車通学時間は適切で、自転車道は安全で整備されているでしょうか。④大学生は、経済的に安心できる生活をし、青春を刺激する豊かな文化・スポーツ環境に恵まれているでしょうか。大人の文化的満足度は満たされているで</p> | <p>○ 本計画（案）は、まちづくりの基本的な考え方を示した函館市基本構想を踏まえております。</p> <p>今日的な課題である急速な人口減少や少子・高齢化、高度情報化の進展など、社会情勢が大きく変化するなか、市民一人ひとりが主体的に社会に関わり、活力ある地域社会を創り出していくことが求められております。こうしたことから、郷土の歴史や文化を誇りに思い、地域の発展を支える人材の育成を目的として、本計画を策定するものです。</p> <p>いただいたご意見は今後の取組等の参考とさせていただきます。</p> |

| No. | 意見の概要   | 市の考え方 |
|-----|---|-------|
|     | <p>ようか？⑤購買意欲が満たされる街づくりがなされているのでしょうか？</p> <p>3) 親の子育て条件を援助しているのでしょうか。<br/> ①経済的に余裕をもっているのでしょうか ②親子の対話する時間が保障されているのでしょうか<br/> ③近所の人々は子どもを暖かく見守っているのでしょうか。</p> <p>4) 学校教育で子どもをどう育てようとしているのでしょうか。校長のリーダーシップで、校内が機能するようと言いますが、校長のリーダーシップが求められるのは当然であり、教職員の協力があって初めて学校は動くのであり、学力を支えるのはプロ集団であり、常なる研究心と向上心子どもへの愛が重なり合い生まれてくるものです。しかし、学力向上・身体能力向上をうたっていますが、その結果、町を愛する子どもには育ちません。町に残ろうと思うのは、親子の絆があって、地域の住民との交流がうまれて、卒業後の仕事の充足と充実があってなどであり、全て、まちづくりの結果です。1次産業・2次産業・3次産業の総合的有機的結びつき・人の動きから、まちが活性化するのであり、今、函館市に不足しているのは何かという問いかけへの明確な分析なしで、教育へ少子化と活性化への解決を求めることに違和感を覚えます。</p> <p>結論：お金が充分あり、子育て出来る家庭は、自分の子どもたちが自立すると、この町を離れていきます。なぜでしょうか。函館市は観光客に魅力があっても、住人にはここに住む魅力がないというアンケート結果があります。住民が、まちに残りたくなる「町の魅力とは何か」の議論が全く欠けているのに、町の活性化を議論するスタートには立ち得ません。さらに、教育振興基本計画は、子どもへの思いやりにかけており、子どもを通して、このまちが活性化する方向性が見られず、展望に欠けています。国の教育基本計画は地方の再生を期しての立ち上げでした。ならば、函館市も町村大合併して大きくしたなら、地方の充実（文化面・教育力・経済力）を進めることでなければなりません。東部地区・北西部地区・函館山地区・駅周辺とそれぞれの特性を生かし、地方ごとの充実を策定すべきです。教育基本計画で大雑把に「少子化と、まちの活性化、愛着を求める」のは国の方向とも住民の願う方向とも全く異なります。</p> |       |

| No. | 意見の概要  | 市の考え方  |
|-----|--|--|
| 2   | <p>○ まず初めに函館市の人口減少が避けられないとされているが、行政が函館市の住民の要望を積極的に取り入れ、本当に暮らしやすい街づくりをしてきたかどうかの反省なしに語るのには次に進むことは難しい。</p> <p>主体性的に判断行動することができる人を目標としているようだが、どこにも自己肯定感をもてるような教育環境がこの計画には見当たらない。自分が大切にされている実感が持てなければ、自信をもって前に進むことは難しい。自己肯定感を大切にする人間関係や環境をどう作り上げていくのかを計画に入れることが主体性を育むことになる。</p> <p>また、学力テストによる点数主義のドリル重視の学習は思考力を停止させる。好奇心を掻き立て、深く考える学習こそ真理を迫及し、思考力も深くなる。</p> <p>道徳でお仕着せの愛着心をいくら唱えても、子どもの心には響かない。函館に住んでいてよかったという経験や実感がなければ本当の愛着心は育たない。そういう教育環境を作ることが大事である。単なる言葉ではない。</p> <p>この計画は子どもたちの何を育てようとしているのか。道徳によって一つの考えを教え込み、点数主義の学力で差別し、子どもの自主性をなくす計画にしか思えない。</p> <p>どの子どもたちも、本当に幸せに生きていけることを考えてほしい。</p> | <p>○ 本計画（案）は、まちづくりの基本的な考え方を示した函館市基本構想を踏まえるとともに、国の教育振興基本計画や学習指導要領を参酌しています。</p> <p>いただいたご意見は今後の取組等の参考とさせていただきます。</p> |

|                |   |
|----------------|---|
| 意見等を考慮した結果の修正案 | 意見による修正はありません。  |
| 結果の配布場所        | 教育委員会学校教育部学校教育課（市役所本庁舎5階）   |
| お問い合わせ先        | 教育委員会学校教育部学校教育課<br>TEL：0138-21-3523      FAX：0138-26-7901<br>E-Mail：gakko-keikaku@city.hakodate.hokkaido.jp |